

英語通信 Twenty-twenty



Do you like some more English?

最近、テレビなどで「テレワーク」という言葉をよく耳にします。日本では「通勤せずに自宅で働く」という意味で使われていると思います。テレワークは「テレ」と「ワーク」の2語をくっつけた造語です。ワークは work ですが、tele とは何でしょう？tele がつく英単語をいくつか思い浮かべてください。

television (テレビ) telegraph (電報) telephone (電話) teleportation (瞬間移動)
telepathy (テレパシー) telescope (望遠鏡) など

いずれも近代に出来た造語です。tele の語源はギリシャ語で、意味は「遠くに離れて、遠くから」です。例えば、テレビは遠くから vision (L) 画像が送られてくるイメージで作られた語。同じように他の言葉を tele と合わせてみてください。

graph (G) 書き文字・記録 phone (G) 音声 port (L) 運ぶ pathy (G) 感情・感覚
scope (G) 見る ※ () 内は語源、G はギリシャ語、L はラテン語

このように、テレワークは、「遠くで働く」という意味になります。同じような英語の表現で、remote working という言葉があります。

remote の語源はラテン語で、意味は「遠く離れて、離れた場所」です。remote の語源をもう少し分解すると、元になったラテン語の remotus は、動詞 remove の過去分詞で、remove は re (away 離れて) movere (move 動く) =後ろに下がる、持ち去る、視界から消すなどの意味です。誰にでもなじみがある「リモコン」は remote control (controller) 遠隔操作 (遠隔操作機器) ですね。リモートワークも「遠くで働く」という意味になります。



「遠く離れたところで働く」という同じ意味を持つ2つの言葉テレワークとリモートワークの違いを調べました。まず、テレワークとは何かということから紐解きます。

元々、テレワークという造語は、アメリカ空軍と NASA の通信システム・宇宙用の乗り物を設計するプロジェクトに従事していた Jack Nilles という人が 1973 年に生み出しました。彼は遠隔地とのコミュニケーションに当時の最新通信技術を活用することで、スタッフの勤務時間を削減できることに気が付きました。そこで“Telecommuting” “Telework” という造語を作って、プロジェクトに参加しているスタッフを無駄な通勤から解放しました。

少し本題から外れますが、commute という動詞が「通勤」という意味で使われるようになったのは、1889 年からで、通勤・通学定期 (回数券) の commutation ticket から派生したとのことです。commute (他動詞) は、交換する、取り替えるという意味です。語源的にもそうです。



通勤、通学と交換の関係はというと、プリペイであろうとポストペイであろうと、毎回同じ旅程 (往復) のチケットを買うことから、一括で安価に買うということ (定期券・回数券) に「交換する」という発想にあるのではないかと思います。

さて、リモートとテレに違いはあるかということですが、言語的には同じような意味でも実用的には少しニュアンスが違うようです。簡単に説明すると、テレワークはメインに働くオフィスがあり、状況によって家などの遠隔地でオフィスと連絡を取りながら働くこと。リモートワークは、メインのオフィスがあってもなくても遠隔地での仕事をメインにすること。つまり、リモートは通勤することが元々ない場合もあります。例えば、大阪に在住しながらイタリアの企業に就職している場合もリモートワークです。

日本では、テレワークという言葉が30年以上前から使われているそうですが、2019年に働き方改革が施行されてから、働き方の一つとしてよく耳にするようになったのではないのでしょうか。telework は基本的には名詞だと思うのですが、たまたま work という単語に名詞と動詞があるため、to telework というように動詞として使っている例文をたまにみます。ただ、今まで私が調べたところでは teleworking (名詞) を使っている例の方が多くないように思います。

例文1 Nine out of 10 **telework** managers report no problem at all in this area.



例文2 We also see how **teleworking** has changed people's life.

出典 Cambridge Dictionary

しかし、実際に日常会話などで、native の人が telework/teleworking を使うかということ、そうでもないようです。単純に work from home という表現を使うことが分かりました。略語の WFM(Work From Home)も、自宅通勤という意味で一般的に使われているとのこと。感覚的には

I will be teleworking the next week.

という表現よりも

I will work from home the next week.

の方が自然な英語だと思います。

それは telework という造語自体が、専門用語とまではいかないにしても、一般的に定着していない語彙だからではないでしょうか。また、これは私の個人的な考えですが、前に述べた television などの造語は、ギリシャ語・ラテン語の古語で作られていることが多いように思います。work は語源が古英語(ゲルマン系言語)なので、ギリシャ語の prefix (接頭語)との組み合わせに何となく違和感があるのかもしれませんが。



ついでに、work from home と work at home の違いを考えてみました。from と at の違いですが、at ならば「家で働く」です。from 「～から」という前置詞を使うからには向かう方向がある、というイメージです。向かう方向がオフィスということになります。普段は通勤している人が在宅勤務している場合は、ただ、「家」という「場所」「で」働くのではなく、在宅で仕事相手やオフィスのメンバーなどと働く、という意味で from を使います。



言葉は日々新しく作られていくものです。毎年、流行語大賞が発表されますが、すぐに忘れ去られるものもあれば、定着して辞書に載る言葉もあります。コロナウイルスのおかげとは言えませんが、テレワークという言葉が今年は流行語の一つになるかもしれませんね。

2020.April